

# 省エネで地球にやさしく、 財布にやさしく その①

日本のエネルギー消費量は 70 年代に起きた石油危機でその年には伸びが鈍りましたが、その後、80 年代また伸びが回復し、現在に至っています。1990 年当時と比較した伸びは工場などの産業分野では 1.1 倍なのに対し、車・鉄道・飛行機などの運輸部門で 1.2 倍、さらに家庭やオフィスなどの民生部門では 1.3 倍になっています。

家の中には複数のテレビ、そして各部屋にはエアコンと快適な生活環境の実現の反面、消費するエネルギーは増え続けてきたのです。

エネルギーの大半を石油や石炭などの化石エネルギーを燃焼させることで得ている現在、大気中には燃焼によって二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）が排出されます。この排出された二酸化炭素の量が多くなってしまったために、地球の大気は二酸化炭素の膜で覆われ、ちょうど温室のような状態で気温の上昇が続いていきます。それが、地球温暖化現象です。

北極や南極の氷が溶けているという報道を耳にすることはありませんか？でも、「それは、外国の話でしょ」と思っていたら、大間違い。ひとつの温室に入っている私たちが、無関係なはずはありません。このまま、地球温暖化が進んだ場合、大雨が増加したり、逆に雨不足になったりする異常気象に見舞われる地域が増える恐れがあるとされています。

それを止める有力な手段のひとつが家庭の省エネです。一人ひとりが問題意識をもって、省エネを実行することが大切です。

